

21年度上期「なら県民電子会議室」キックオフ大会議事録

1. 日時：平成21年4月4日（土曜日）13：00～17：00
2. 場所：奈良県庁 5階 第1会議室
3. 出席者：奥家孝彦、西川良秀、荒川隆行、安細恭弘、石川千明、金田充史、城戸振作
木村新一、田部慶信、中川 保、中西久夫、馬場英彦、藤野正文、伏見至
遊津隆義、渡辺 隆、多田充朗、坂田安男、柳沼壽徳、前川治治、
オブザーバ 4名

4. 議題：

第1部：ミニ講演会

(1) テーマ：「家庭で出来る生活廃水対策」

講師：奈良県環境政策課 伊吹幸代 主査

(2) テーマ：「うるおいのある川づくり」

講師：奈良県河川課 中川保 課長補佐

(3) テーマ：「ものづくり産業の活性化」

講師：奈良県産業支援課 永井淳 調整員

第2部：第16回運営委員会

(1) 委員長挨拶

(2) 20年度下期報告書

コーディネータ報告

事務局報告

(3) 21年度上期 テーマ/コーディネータ紹介

(4) 県からの報告

第3部：懇親会（於：魚佐旅館）

5. 議事の経過概要

第1部：ミニ講演会

(1) 環境政策課伊吹主査より「家庭で出来る生活廃水対策」

大和川の水質は近年かなり改善されてきたが、まだ全国ワースト1位でありその汚染源の80%を占める生活廃水による汚染を改善するためには、個別浄化槽を使用している家庭の下水道への接続を重点的にお願いしているとの説明があった。もっと強制力をもった取り組みなど活発な質疑応答があった。

(2) 河川課中川課長補佐より「うるおいのある川づくり」

大和川総合治水対策として洪水流下型から洪水貯留型への移行やハザードマップ、警戒避難体制の確立、水環境の改善に向けて、生活廃水対策のほか、地域住民

関係者一体になったキャンペーン、多様な生物が生息できる川づくりなどを事例を交え説明された。

(3) 産業支援課永井調整員から「ものづくり産業の活性化」

県内の特徴ある技術を有する中小企業を活性化する取り組みとして、国の様々な支援策の活用や、県独自の育成補助事業などの説明がされた。

知事の重点施策として強力な取り組みを期待する活発な質疑応答があった。

第2部：第16回運営委員会

冒頭、4月1日付けで県広報公聴課長に着任した西川良秀課長から、奈良県としては、県民の視線に立った広報公聴活動を目指しており、双方向の公聴活動として、なら県民電子会議室での活発な議論を期待しているとの挨拶があった。

(1) 委員長挨拶

奥家委員長より、なら県民電子会議室が今年度も継続することになり、県から高い評価を受けた得たものとする。コーディネータを初め関係各位のご協力に感謝する。今期も活発な議論をお願いしたい。との挨拶があった。

(2) 29年下期活動報告書 別紙参照

コーディネータ報告：各テーマについて下記報告があった。

テーマ1：奈良の魅力の発信と観光客の誘致

奈良県の観光の分野だけでなく街作りや生活に関わる問題まで非常に幅広い議論が展開でき、議論が奈良県北部に集中し中南部に関するテーマが少なかったと言う課題はあったが、21項目の提案に纏めることが出来た。

テーマ2：受診者の立場から医療資源を考える

医療資源という一般的に分かりにくい表現で投稿が心配であったが大変充実した有意義な投稿を頂き、9件の提案に纏めることが出来た。

テーマ3：地域ぐるみで学校を支援しよう

この会議室では教育テーマは今回3度目であったこともあり発言者も限定され、意見も煮詰まった感があるが3項目の提案に纏めることができた。地域本部事業を推進するための情報ネットワークとしてこの電子会議室のような仕組みの活用を検討していきたい。

テーマ4：平城遷都1300年祭を成功させよう

平城遷都1300年祭を機に奈良のもてなしを考えようと特に制約を設けずにフリー討議をお願いしたところ貴重な改善のヒントとなる9件の提案を纏めることが出来た。

事務局報告

事務局より広報活動、アクセス、投稿、登録件数などの状況報告があった。前下期の投稿数は733件、累計3231件に達した。

このところアクセス数、投稿数、登録者数とも横ばいで投稿者も固定化してきているが、引き続き会議室の活性化に取り組みたい。その為にも県職員の議論への参画や適切な情報発信、県政への反映などを県にお願いしたい。

(3) 21年度上期 テーマ/コーディネータの紹介

21年度上期のテーマとコーディネータが紹介された。

テーマ1 ものづくり産業を考える

奈良県に興したいこんな産業

テーマ2 「もてなしの心」あふれる奈良

ひと声からはじまるコミュニケーション

テーマ3 奈良の医療を浴するために

受診者の立場から医療を考える

テーマ4 ホタルが飛び交う河川の範囲を拡げよう

河川・公園・道路を美しくするには

(4) 県からの報告

3年間にわたる県民電子会議室の活動の成果として、県の観光関係 HP に韓国語、英語のページがリニューアルされたり、奈良市地域本部評価検証委員会報告に電子会議室の取組みが紹介されたこと等が紹介された。

以上